

平成20年度  
教育行政  
執行方針

安田 薫議員

教育の四季と少人数学級で代表される本町の教育行政は進んでおり、かつ地域の協力体制も十分とは思いますが、国道の支援事業を上手に取り入れ、更なる学校への支援と体制作りについて伺う。具体的には教員の事務負担を軽減し、生徒と向き合う時間を確保するため、また、子供の豊かな心を育てるために、学校、家庭、地域社会の連携が必要である。状況を伺う。最近よく耳にする、学校経営についても伺う。

三澤教育委員長

生涯学習ボランティアに登録いただいた方を学校の要請に応じて派遣し学習支援を行い、清水小学校では子供の登下校時に清水っ子見守り隊の通学支援も実施されており、更



登下校時の安全を守る  
清水小学校の清水っ子見守り隊

そのほかの一般質問

口田邦男 議員

◆「農地・水・環境保全向上対策事業」の検証と他地区の取り組みは

妻鳥公一 議員

◆国民健康保険税

安田 薫 議員

◆町民の健康づくり

原 紀夫 議員

◆市街地景観の保持対策  
◆幼稚園及び保育所運営の将来展望

に充実した事業展開を図るよう努めていきたい。学校経営は校長が教職員と共同体制を整えるなかで、学習指導要領に基づき、町教育委員会の指針を軸に学校の教育目標の具現に向けて教育課程を編成し、実施評価するもの。

高齢者・障害者等  
に対する  
宅配制度導入

原 紀夫議員

高齢化の進行が著しくなり、高齢のため免許を辞退する町民も現出している。市街地商店より距離があり、買い物等に不便や不安を来している高齢者世帯や障害者及び子育てに追われる主婦等を対象に、中心市街地の空き店舗を有効活用し、日用品等の宅配サービス(御用聞き等を含む)を行う将来を見据えた町支援による組織の

必要性を伺う。また、これらに町営バスを活用し、主要店舗まで送迎することについての是非はいかがか。

高薄町長

共同配送の独自組織については、インターネット商店街が町内にチラシを入れて宅配を行っており、取り扱いが主に特産品で、日常の必需品まで至っていないが、これらの組織の体制を拡充していくのが早いのではないか。

石黒教育課長

バスの活用については、スクールバスは文部科学省の補助を受け一定の制約があると思うが、町民バスは検討したい。

企業誘致の  
推進

原 紀夫議員

本町の企業誘致活動がどのように推進されているのか見えないとの町民の声が聞かれる。本町独自の特色をいかしPRに力を入れ、閉塞感からの脱皮を目指して策を講じる必要があると思うがいかがか。平成18年度設置し取り組んでいる清水町経済活性化戦略会議での企業誘致活動取り組みの進捗状況を伺う。現行は町長の

トップセールスによる活動が主体のようであるが、今後は有能職員を配置した企業誘致室を設け、情報収集に努め取り組むべきと思うがいかがか。

高薄町長

企業の誘致は、私が動いており、現在、数社に要請をしているが、経済動向、自社の利益を中心に考えなければならず、このような用地があることを示している。経済活性化戦略会議には進捗状況を話しており、企業誘致室の設置は、組織を見直すなかで十分に議論をしていきたい。

会期 平成20年 4月4日

第3回臨時会

4月4日に開かれた第3回臨時会では、一般会計の補正予算、町有財産の処分、物品の取得について審議し、原案どおり可決しました。

主な補正予算

一般会計

(歳入) 温泉施設売払収入 4,000千円  
(歳出) 温泉売買斡旋手数料 96千円

町有財産の処分

しみず温泉施設【土地・建物】

(売払価格) 24,000,000円  
(相手方) 株式会社コンセルジュ

物品の取得

肥料【BB787 500kg入り 313パック】

(契約金額) 10,032,041円  
(相手方) 十勝清水町農業協同組合